

梶村慈先生 : N Engl J Med(2010)362:1563-1574

“2型糖尿病患者の脂質異常症に、Fenofibrate は Add-on 効果なし”

Effects of Combination Lipid Therapy in Type 2 Diabetes Mellitus

The ACCORD Study Group

【背景】2型糖尿病患者の脂質異常症に対し、スタチンの有用性は数多く報告されていますが、臨床上、低HDLや高TG血症を解決できずに悩まれている先生も多いと思います。Fenofibrateとスタチンの合剤の噂も聞こえており、今回はスタチンへのfibrateのadd-on効果の検討がなされました。

【方法】ACCORD studyの2型糖尿病患者の中で、HDL<55(女性は50以下)で、LDLは、60-180, TG<700を対象に、Simvastatinに加えて、Fenofibrate投与群(n=2765)、placebo群(n=2753)に対し、非致死性心筋梗塞、非致死性脳卒中、致死性心血管イベントをPrimary outcomeに検討されました。

【結果】Simvastatin+Fenofibrate群は、Simvastatin+placebo群に比し、TGを有意に減少させ、HDLを一過性に上昇させましたが、LDLには影響を与えませんでした。Primary outcomeの頻度はSimvastatin+Fenofibrate群2.2%/年、Simvastatin+placebo群、2.4%/年であり、Secondary outcomeに拡大しても、Simvastatin+Fenofibrate群に有意な血管合併症抑制効果を認めませんでした。サブ解析では、男性が女性に対し、またTG>204mg/dlかつHDL<34mg/dlがそれ以外の群に対し、Simvastatin+Fenofibrate群でmpHRの改善を認めました。

【結論】スタチン服用中の2型糖尿病患者に対し、fibrateを追加することの積極的なbenefitは証明できませんでしたが、ただ、高TG,低HDLという酒飲み、タバコ吸いの男性には効果があるかもしれません。

(文責 阿比留)